

# 議会報告

日本共産党交野市会議員団

かたの民報

NO. 1513  
2010年11月発行

交野市役所 共産党控室  
私部 1-1-1  
☎ 892-0121 (内線 301)

中上さち子 ☎893-6785  
さかの光雄 ☎893-1083  
さらがいふみ ☎894-2835

## 来年度、小学校にもクーラー設置を検討

10月議会の一般質問では、今夏の猛暑を受けて、小学校へのクーラー設置を求める質問が相次ぎました。中学校は来年度に設置を完了することが決まっています。質問を受けて、中田市長は、「来年度、小学校のクーラー設置が可能かどうか検討する」と表明しました。

日本共産党は、児童の健康や学習環境上、どうしても来年の夏に間に合うよう、クーラーの設置が必要だと、強く要望しました。

■学校のエアコン設置状況 (H22. 3. 31 現在)

	小学校			中学校		
	小学校	設置校	設置率(%)	中学校	設置校	設置率(%)
交野市	10	0	0.00	4	0	0.00
守口市	18	0	0.00	9	0	0.00
枚方市	45	45	100.00	19	19	100.00
寝屋川市	24	2	8.33	12	0	0.00
大東市	15	15	100.00	8	8	100.00
門真市	15	15	100.00	7	7	100.00
四条畷市	7	6	87.51	4	0	0.00

## 交通専従員、強引な廃止はダメ！

市は来年4月から、児童の登下校の安全を守る「交通専従員」を廃止する方針です。その後の体制づくりも進んでおらず、「廃止して子どもの安全が守れるのか」と不安が広がっています。

市は、来年4月から交通専従員を廃止し、その後は「保護者を中心に、地域にも協力をお願いしていく」としています。

しかし、今後の体制について、市の対応は遅く、今から各校PTAに協力を呼びかけていく状況です。市PTA協議会や区長会等ともまだ協議できていません。

日本共産党は、「保護者や地域の体制が十分に整うまでは、交通専従員の配置を継続し、関係者の合意を得ながら、丁寧に体制づくりをすすめていくべきだ」と求めました。

## 子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種に助成を

重症化や死に至る感染症であるヒブ・小児肺炎球菌のワクチンに次いで、昨年12月に、子宮頸がんワクチンも承認されました。しかし、費用が高額なためあまり普及していません。特に子育て世代には大きな負担となっています。

ワクチンの有効性は確認済

子宮頸がんは、ワクチンで予防できるがんです。また、ヒブ・肺炎球菌ワクチンの接種で、子どもの髄膜炎患者が90%以上減少した報告もあります。ワクチン

住民の健康増進に責任を

国は年度内に「3ワクチン促進対策」を実施する考えです。市は、「国の動きを見て検討する」としていますが、自治体の責任で、ワクチン接種に公費助成を行なうことを求めました。

ンの有効性・予防効果は世界で確認され、国内の医療機関もワクチン接種を推奨しています。



ブログもぜひご覧ください！

- ☆中上さち子 <http://ngami.exblog.jp/>
- ☆さかの光雄 <http://jcpsakano.exblog.jp/>
- ☆さらがいふみ <http://sarage.exblog.jp/>

## 新ごみ処理場予定地からダイオキシンを検出

警船地区に計画されている四条畷市・交野市新ごみ処理場予定地における地下水調査で、ダイオキシン類・ベンゼン・鉛・砒素などが基準値をオーバーしていることが明らかになりました。

この予定地は、昭和40年代に土砂採集が行われ、50年ごろに建設廃棄物を含む残土で埋め戻されました。平成4年の土壌調査でも、鉛・砒素・水銀が検出されていました。それにもかかわらず、市は、詳しい土壌調査もせずに、「ミミが埋まっている」といって土地の値段で土地購入を行いました。

これから大阪府の指導のもとに、対処していくこととなります。

